目標達成計画

作成日 : 平成 23年 12月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>
1	23	利用者一人一人の想いを把握し、より多〈実現で きるように取り組みたい。	日常的及び定期的に利用者への聴き取りを行い、毎月数名でも実行できるように取り組む。	利用者とより多くの会話が出来るように、コーヒータイムなどを設けて、リビングで一緒に過ごす時間を持てるように取り組む。 それ以外でも一緒に食事を摂る際にも、会話の中から想いを汲み取れるようにする。 日常会話の記録を増やし、伝達することで共有できるようにする。 共有した情報で介護計画を作成し、具体策を話し合うことで、実行できるように取り組む。	9 か月	
2	35	火災、風水害などの災害対策の徹底。	地域と扱力した災害対策の変立	運営推進会議での避難訓練の実施。 地域との災害時連携の意見交換。 地域の他事業所との連携強化。 毎月の避難訓練の内容強化。	9 か月	
3		サービスの質を向上するために、 職員一人一人 のレベルアップが必要。	接遇やスキルアップによるサービスの質の向 上が図れる。	外部研修への参加率を向上する。 毎月の勉強会の内容の見直し、職員主体の勉強会も行うようにする。 個別のスキルアップ制度の導入。 スキルアップ制度に合わせた個別向上計画の作成。 利用者を主体とした改善計画を職員全体で話し合う。	9 か月	
4		御家族や外部の方が来られた際に〈つろげるスペースが無い。	御家族や外部の方が入りやすい、過ごし易い 環境をつくる。	職員全体への接遇の徹底や勉強会の実施。 リビング環境を整備し、御家族が一緒に過ごせる 環境作りに取り組む。 共有空間の〈つろぎやすい雰囲気作りとして、ス ペースの見直しや、観葉植物などでの環境整備 を行う。 玄関や共有空間の明るさを調整し、雰囲気の改善を図る。	4 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】 取り組んだ内容 実施段階 該当するものすべてに 印) 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った 利用者へサービス評価について説明した 1 サービス評価の事前準備 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した その他(自己評価を職員全員が実施した 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った 2 自己評価の実施 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った その他(普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた 3 外部評価(訪問調査当日) 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た その他(運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った 4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開 評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った その他(職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する) 5 サービス評価の活用 「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する) 「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む) その他(